

教科(科目)	地歴（歴史総合）	単位数	2	2単位	学年(コース)	4学年
使用教科書	山川出版社 『歴史総合 近代から現代へ』					
副教材等	帝国書院 『明解 歴史総合図説シンフォニア 最新版』 とうほう 『ウィニングコンパス歴史総合の整理と演習』 山川出版社 『歴史総合要点チェック』					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

小・中・高のつながりを意識して基礎事項の定着を目指すとともに、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする活動を通じて、現在の世界の抱える諸課題に対して自主的・自立的にアプローチできる能力を育む。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する興味関心、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	授業中の発言、発表や討論への取組の観察レポートや提出物などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動(指導内容)	評価方法
4	第7章戦後の国際秩序と日本の改革 ①新たな国際秩序と冷戦の始まり ②アジア諸地域の独立	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築しているか理解している。 ・ 国際連合のしくみと内容について、政治的・経済的な面から理解して、新しい秩序にどう対応していくか考察している。 ・ ドイツの分割統治について、アメリカ・イギリス・フランス側とソ連側を比較して考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など

5	<p>③占領下の日本と民主化 ④占領政策の転換と日本の独立</p> <p>第8章冷戦と世界経済 ①集団防衛体制と核開発</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・連合国は、どのような面で日本の民主化を進めていったのか理解している。 ・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の史料を読み、日本が認めた内容を考察している。 ・核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
6	<p>中間考査</p> <p>②米ソ両大国と平和共存 ③西ヨーロッパの経済復興 ④第三世界の連携と試練</p>	1		
		8	<ul style="list-style-type: none"> ・東西冷戦を象徴する「ベルリンの壁」構築の背景を理解している。 ・アジア・アフリカでの新興独立国の増加と「第三世界」の形成が、国際社会に与えた影響を理解している。 ・経済統合のメリットとデメリットを比較しながら、地域統合がヨーロッパ経済の発展につながったことを考察している。 ・アメリカの主導権から西ヨーロッパ諸国が脱却しようとした背景を考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
7	<p>⑤55年体制の成立 ⑥日本の高度経済成長</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・分裂していた社会党が統一するなかで、保守合同がおこなわれたことを理解し、二大政党の対立の実態をまとめている。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について表現している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
	探究活動		<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に課題を設定し、史料を収集・分析し自分の意見をまとめている。 	レポート
9	<p>⑦核戦争の恐怖から軍縮へ ⑧冷戦構造のゆらぎ ⑨世界経済の転換</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ・核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解している。 ・ベトナム戦争の要因とその経過について理解している。 ・金ドル本位制の停止が世界経済に与えた影響を理解している。 ・石油危機が発生した背景と世界経済に与えた影響を理解している。 ・キューバ危機が核戦争の危機として緊張が高まったことを考察している。 ・ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
	期末考査			

10	<p>⑩アジア諸地域の経済発展と市場開放</p> <p>第9章グローバル化する世界</p> <p>①冷戦の終結と国際情勢</p> <p>②ソ連の崩壊と経済のグローバル化</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ・中国における改革開放路線について理解している。 ・ソ連のアフガニスタン侵攻が米ソ関係の悪化と軍事費の増大につながったことを理解している。 ・地域統合や自由貿易圏の設立とともに、世界規模での貿易を促進するWTOの役割を理解している。 ・プラザ合意とバブル経済の関係について考察している。 ・イラン＝イラク戦争と湾岸戦争におけるアメリカの立場について考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
11	<p>③開発途上国の民主化と独裁政権の動揺</p> <p>④地域紛争の激化</p> <p>⑤国際社会のなかの日本</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦終結前後の韓国と北朝鮮における政治情勢や台湾の民主化の推進について理解している。 ・1993年のオスロ合意がパレスチナ問題において歴史的なものであったことを理解している。 ・55年体制の崩壊の要因と、その結果として誕生した政権の特徴を理解している。 ・イラク戦争の問題点について考察し、表現している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
	中間考査	1		
12	<p>第10章現代の課題</p> <p>①現代世界の諸課題</p> <p>②現代日本の諸課題</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。 ・人口減少の要因、今後の対応について理解している。 ・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
	探究活動	1		レポート
1	<p>第6章経済危機と第二次世界大戦</p> <p>①世界恐慌の発生と各国の対応</p> <p>②ファシズムの台頭</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌の発生の原因・過程・結果について理解している。 ・ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか理解している。 ・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 ・ソ連の体制はファシズム体制はどのような点で類似していたかを考察し、表現している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など

2	③日本の恐慌と満州事変 ④日中戦争と国内外の動き	6	<ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌がおこった原因・過程・結果について理解している。 ・日中戦争のおこった背景・過程について理解している。 ・金解禁の実施、世界恐慌の影響、昭和恐慌への対応を多面的・多角的に考察し、理解している。 ・この時期の、日本の国民生活の変化について考察している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など
	期末考査	1		
3	⑤第二次世界大戦と太平洋戦争	5	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。 ・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。 	小テスト、ワークシート、発表の様子など

計 73 時間 (48 分授業)

7 課題・提出物等

歴史探究問題集、週末課題、レポート

8 担当者からの一言

歴史総合では、世界史と日本史を合わせて、近現代史の流れを大きく「つかむ」ことが目指されています。様々な資料に親しみながら、資料から歴史を読み解くトレーニングを積み重ねていきます。5年生以降の『日本史探究』『世界史探究』の学習に「つながる」ことを意識しながら学習していきましょう。